

経営比較分析表（平成30年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 阿南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	10,994	第1種該当	10:1	

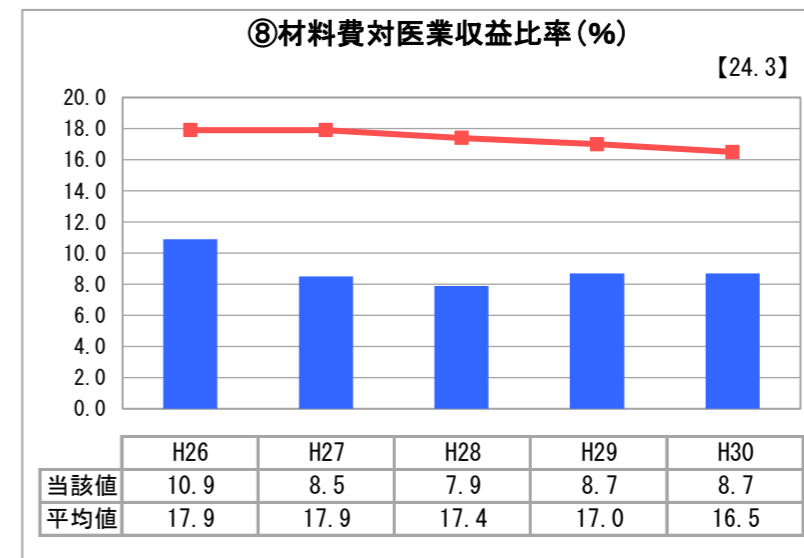
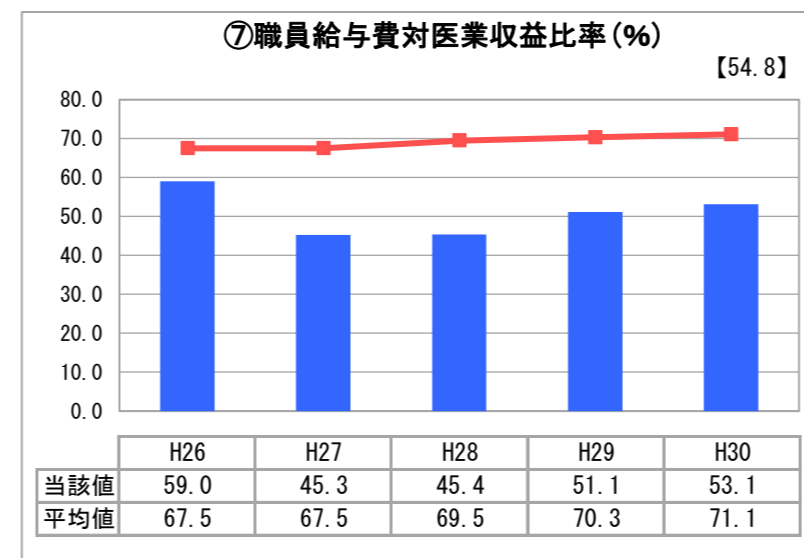
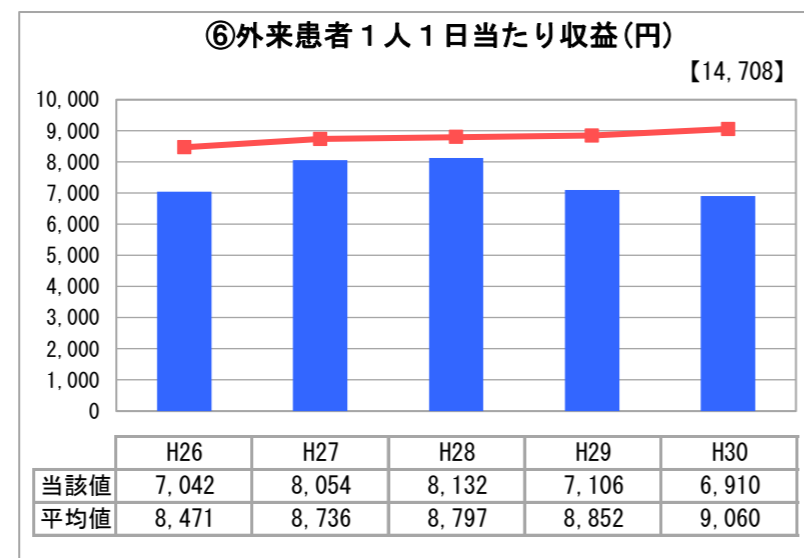
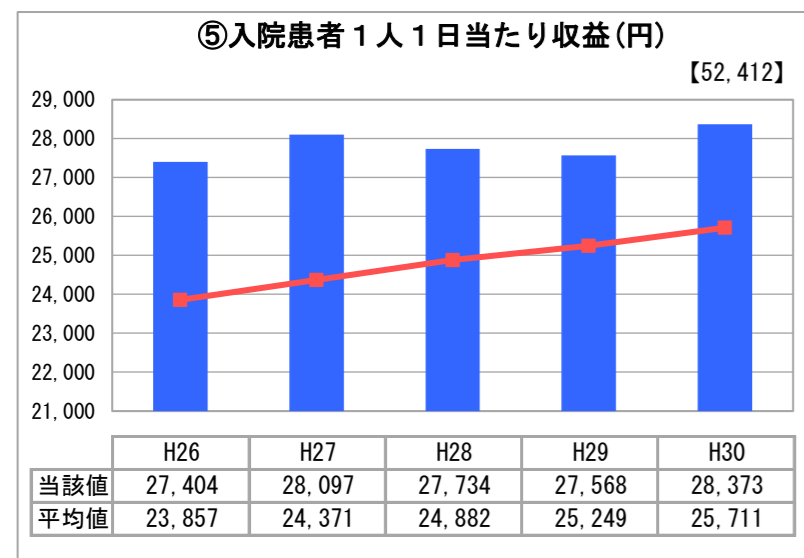
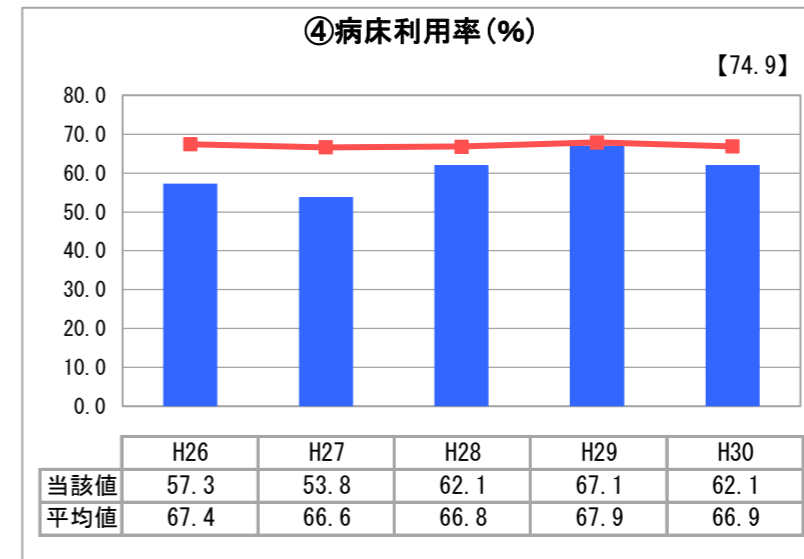
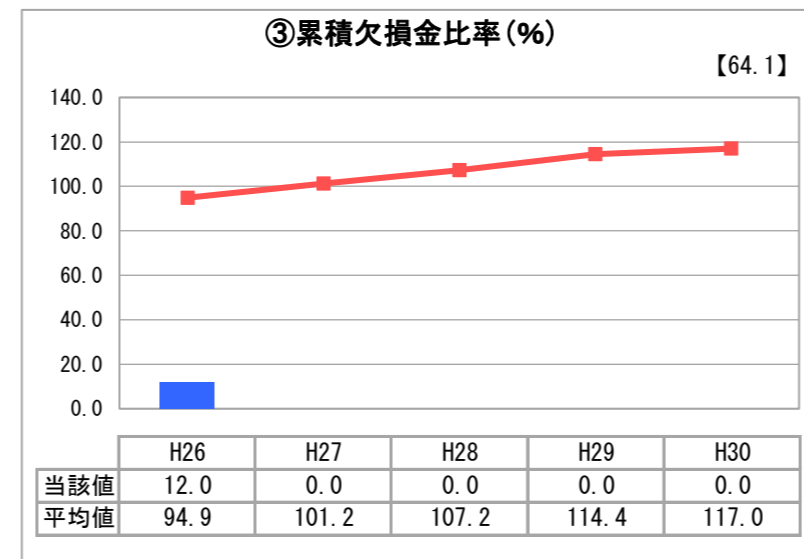
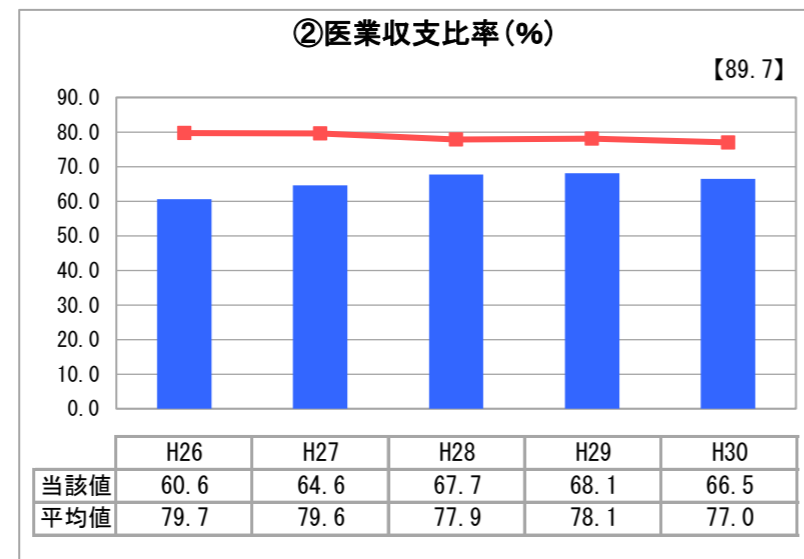
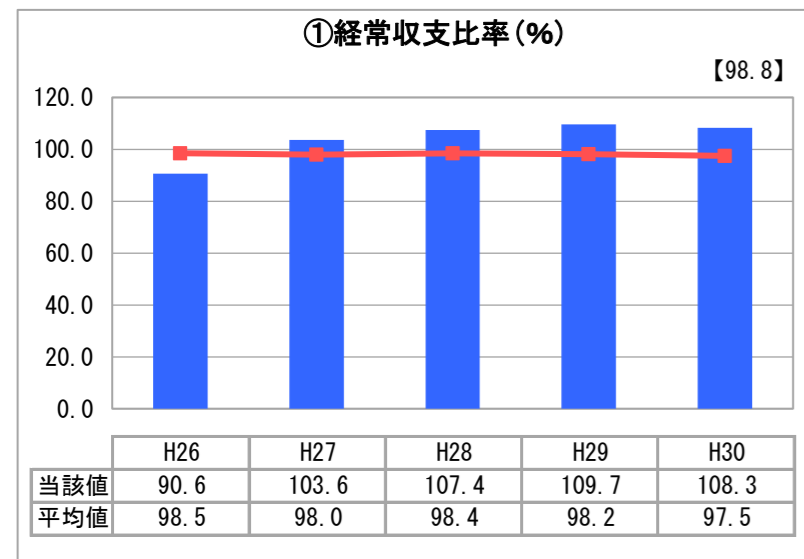
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

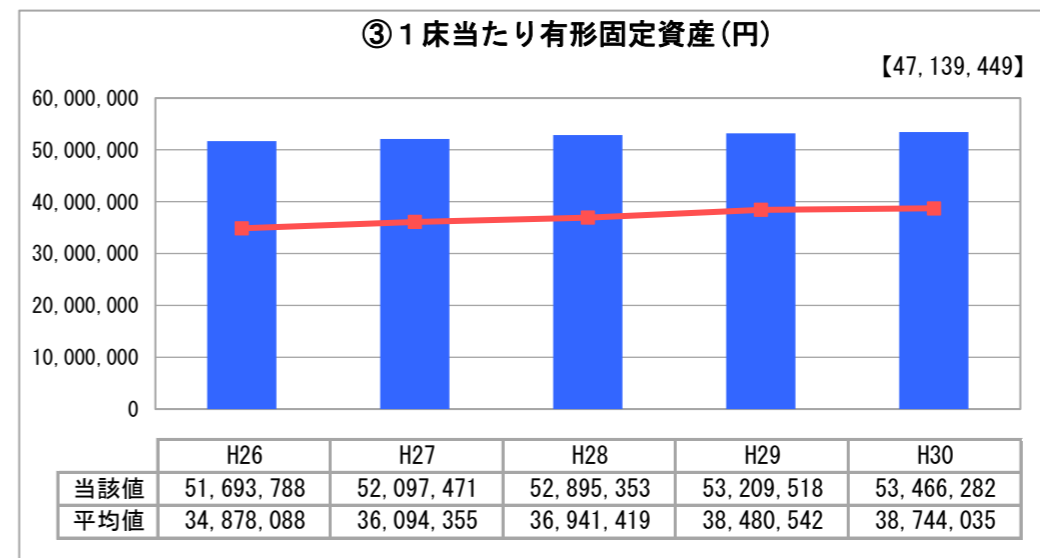
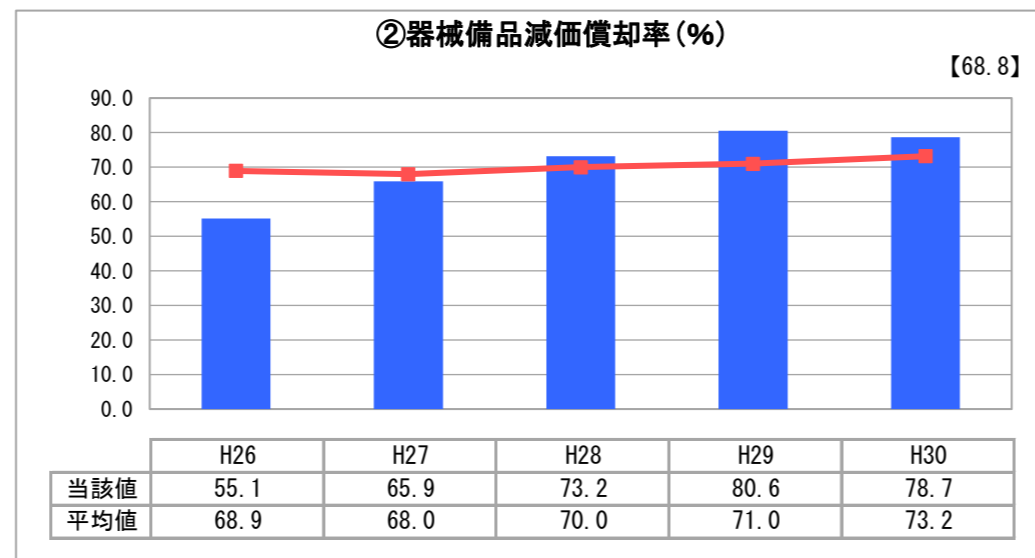
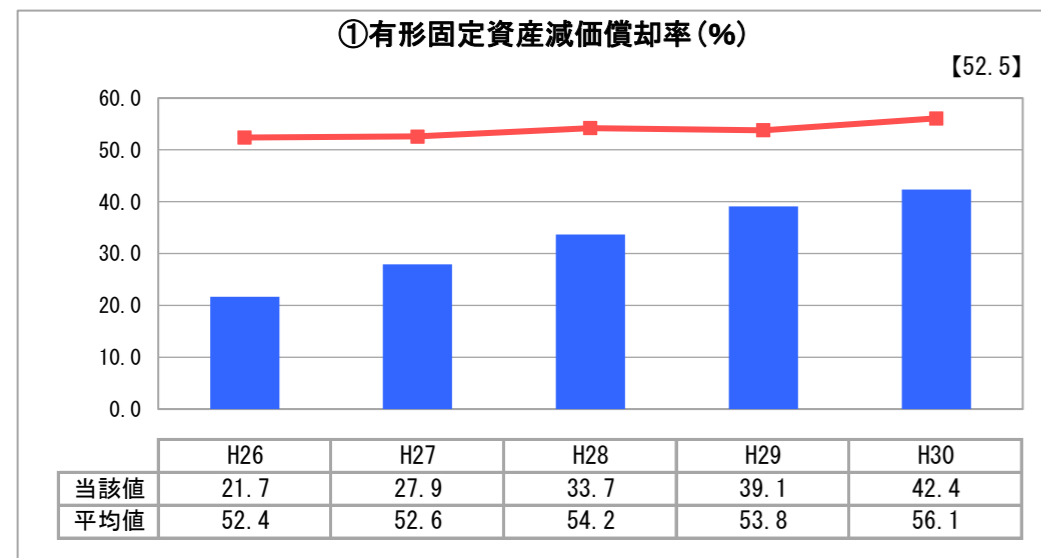
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
85	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	85
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
77	-	77

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	平成22年度	-年度

I 地域において担っている役割

長野県下伊那南部地域の中核病院として二次医療を担っており、へき地医療拠点病院、救急告示病院として、地域住民の疾病予防、早期発見、治療及び救急患者の対応に寄与している。

さらに、交通事情や地域ニーズに合ったへき地巡回診療や、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどの在宅医療にも力を入れた地域医療を提供している。

また、併設の阿南介護老人保健施設とも連携し、医療と福祉の切れ目のないサービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

少子高齢化が進んでいる地域事情にあった診療体系を目指して医師や医療スタッフの確保に努め、人口減少などの状況から病院運営体制の見直しの検討を進めている。

収益面では、患者一人当たりの収益は大きな伸びは見込めず、地域の状況から慢性期医療病院としての役割を有しており、その傾向が続く可能性が高い。

経営面からは、地域の構造的な要因もあり病床利用率が70%の目標に届かず、診療体系から診療単価も上がらないため、医業収益の伸びが鈍い。

2. 老朽化の状況について

本館棟は耐震化改築工事により2013年に新館となったが、1985年に建築された東館、西館についてはともに築30年を超え、漏水等の不具合箇所が生じている。今後は、計画的に修繕を実施するとともに、建て替えを視野に入れた経営計画を検討していく必要がある。

また、器械備品減価償却率が高く、器械の老朽化が進んでいるため、収支のバランスを踏まえ、計画的に器械を更新する必要がある。

全体総括

経常収支比率が3年連続で100%を達成しているが、医業収支比率が60%台で推移しており、本来の医業活動から生じる医業収益だけで賄われている状況ではない。

当地域唯一の中核病院として少子高齢化で人口減少が進む地域において、地域医療構想における当院の役割を考え、地域のニーズに沿った病院運営を進めるとともに、患者中心の優しさと思いやりのある地域医療の推進に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。